

ひろば

vol.131

東京工芸大学同窓会 会報 発行日：2015.9.1 発行人：田沼 武能

〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732(事務局) <http://www.t-kougei.gr.jp> dousoukai@t-kougei.gr.jp(受信専用)

|ごあいさつ



東京工芸大学 芸術学部長
吉野 弘章

平素より東京工芸大学同窓会の皆様には、本学の教育研究に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この4月より芸術学部長に就任いたしました写真学科教授の吉野と申します。私は1985年に本学短期大学部写真技術科を卒業した後、写真専門ギャラリーに勤務し、写真展の企画や運営、美術作品のディーリングなどの仕事に携わる傍ら、2002年に本学大学院芸術学研究科を修了しました。大学院での研究成果により、2003年に日本写真協会賞と日本写真芸術学会賞を受賞したことを一つのきっかけとして、前任校である京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科に教員として着任し、5年間京都で教鞭を執りました。その後、ご縁あって2009年に本学写真学科へ移籍し現在に至っています。また、2013年度より写大ギャラリー運営委員長として、以前の仕事の経験を活かし、国内有数の写真コレクションを誇る写大ギャラリーの展示企画を統括させていただいております。

皆様ご存知のとおり、本学は1923年に当時最先端的メディアであった写真の高等教育機関として創立され、すでに90年以上の歴史と伝統を誇っています。現在、芸術学部では、写真、映像、デザイン、インタラクティブメディア、アニメーション、ゲーム、マンガという七つの学科を配し、昨年度までに全面的に刷新された中野キャン

パスを「メディア芸術の拠点」として、次世代の文化産業を担う人材の育成に努めております。

本学芸術学部の特色は、伝統的な美術ではなく、芸術とメディア・テクノロジーを融合させたメディア芸術の教育研究に特化している点にあります。メディア芸術のルーツは言うまでもなく写真であり、そのような意味では、本学は創立以来、常に最先端のメディア芸術一筋に教育研究を続けてきた、類い稀なる教育機関と言えるでしょう。

近年、写真はデジタル化されネットワーク上で行き来するようになったことで、社会の中での役割、在り様を大きく変容させました。同じように、芸術学部の擁する学科で扱う各ジャンルに於いても、これから時代と共に変化し続けるでしょう。

芸術学部では、今後もメディア・コンテンツに関わる産業界で活躍し、広く社会に評価される人材の輩出を実現するため、常に時代と社会の変化に迅速に対応した教育システムの充実と展開を図っていく所存でございます。

同窓会の皆様には、引き続き力強いご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京工芸大学同窓会のますますのご発展と皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

Join us for Homecoming !!

10月11日(日)中野祭に合わせてホームカミングデーが本同窓会、工学部同窓会、女子短華輪会との合同で開催されます。

参加申込は9月20日(日)までに同封のはがきでお願い致します。

詳細は本誌に同封のリーフレットをご覧ください。

平成27年度 理事・評議員会 開催報告

平成27年6月29日(月)平成27年度理事・評議員会が開催されました。リニューアル工事が完了し、新しく生まれ変わったキャンパスを体感して欲しいという思いから、今年度は初めて中野キャンパスの新校舎2号館2203教室での開催となりました。「今後は写真以外の学科の卒業生にも積極的に加わってもらって同窓会を活性化させていきたい」という田沼会長の挨拶から始まった理事・評議員会の議事は滞りなく進行致しました。今年の3月に卒業した卒業生から選出された新評議員候補者も発表され、評議員に新しい7名の名前が加わりました。平成28年に開催を予定している同窓会90周年記念行事に向けて、気持ちも新たに活動を進めて参ります。会議終了後に芸術情報館に会場を移して行われた「同窓会奨学金・同窓会長賞授与式」では、今後の活躍が期待される若い学生一人ひとりに田沼会長が励ましの言葉をかけながらの授与となりました。引き続き、細江副会長の乾杯の発声により始まった懇親会では、参加者が和気あいあいと懇談し、交流を深めることができました。

上田 耕一郎(75期)

●理事・評議員会議事

- 第1号議案 平成26年度各委員会事業報告承認の件
- 第2号議案 平成26年度収支報告承認の件
監査報告
- 第3号議案 平成27年度各委員会事業計画案承認の件
- 第4号議案 平成27年度予算案承認の件
- 第5号議案 評議員承認の件
- その他 ①同窓会長賞について
②平成27年度学部生および大学院生対象奨学金について
③90周年記念行事について
④名簿調査・発行について

●新評議員

【写真学科】伊藤 恭・佐藤 柚美・猿渡 恵

【映像学科】竹田 爽輝

【デザイン学科】松山 悠菜

【インタラクティブメディア学科】田村 旬平

【アニメーション学科】東 大貴



<自:平成26年5月1日~至:平成27年4月30日>

<自:平成27年5月1日~至:平成28年4月30日>

【一般会計】 (単位:円)

収入の部			
科目		予算額	決算額
1	会費	25,000,000	23,680,000
	1. 本部会費	25,000,000	23,680,000
2	雑収入	3,000	377,385
	1. 預金利息	3,000	2,121
	2. 名簿会計立替戻し	0	365,264
	3. その他		10,000
3	前期繰越	1,725,342	1,725,342
	1. 預金	1,725,342	1,725,342
	合計	26,728,342	25,782,727

支出の部				
科目		予算額	決算額	
1	事業費	18,680,000	17,851,665	
	事業委員会	3,600,000	3,443,568	
	1. 卒業祝賀会	2,500,000	2,352,240	
	2. 会報制作費	3,700,000	3,909,580	
	3. 会報発送費及び作業費	700,000	561,384	
	4. えんのき印刷送費	1,100,000	1,111,158	
	5. HP維持管理費	400,000	299,720	
	6. ひろばアーカイブ作業費	1,200,000	989,395	
	7. 会合費(理事会・理事評議委員会)	450,000	360,050	
	8. 交通費(理事会・理事評議委員会)	1,400,000	1,100,000	
	9. 学部生奨学金	750,000	750,000	
	10. 芸術学研究科奨学金	700,000	700,000	
	11. 同窓会長賞	800,000	790,000	
	12. 校友会活動助成金	300,000	300,000	
	13. 総務委員会積立	700,000	799,910	
	14. 支部活性化助成費	200,000	204,660	
	15. ホームカミングデー対策費	180,000	180,000	
	16. 名簿作成準備費	270,000	338,931	
	2	会議費	200,000	165,689
	17. 会議費	70,000	173,242	
	18. 交通費	2,180,000	1,993,726	
3	管理費	40,000	35,058	
	19. 通信費	400,000	308,312	
	20. 交通費	300,000	293,593	
	21. 事務費	50,000	24,570	
	22. 印刷費	40,000	37,800	
	23. 慶弔費	1,250,000	1,134,713	
	24. 事務局運営費	50,000	49,680	
	25. 備品購入費	50,000	110,000	
	26. 予備費	3,700,000	4,000,000	
4	特別会計	3,700,000	4,000,000	
	27. 基本財産(積み立て)	3,700,000	4,000,000	
	小計	24,830,000	24,184,322	
	次年度繰越金	1,898,342	1,598,405	
	合計	26,728,342	25,782,727	

【一般会計】 (単位:円)

収入の部			
科目		26年度決算額	27年度予算額
1	会費	23,680,000	23,700,000
	1. 本部会費	23,680,000	23,700,000
2	雑収入	377,385	2,000
	1. 預金利息	2,121	2,000
	2. 名簿会計立替戻し	365,264	0
	3. その他	10,000	
3	前期繰越	1,725,342	1,598,405
	1. 預金	1,725,342	1,598,405
	合計	25,782,727	25,300,405

支出の部				
科目		26年度決算額	27年度予算額	
1	事業費	17,851,665	17,180,000	
	事業委員会	3,443,568	3,600,000	
	1. 卒業祝賀会	2,352,240	2,300,000	
	2. 会報制作費	3,909,580	2,700,000	
	3. 会報発送費及び作業費	561,384	600,000	
	4. えんのき印刷送費	1,111,158	1,200,000	
	5. HP維持管理費	299,720	200,000	
	6. ひろばアーカイブ作業費	989,395	1,100,000	
	7. 会合費(理事会・理事評議委員会)	360,050	400,000	
	8. 交通費(理事会・理事評議委員会)	1,100,000	1,600,000	
	9. 学部生奨学金	750,000	500,000	
	10. 芸術学研究科奨学金	700,000	800,000	
	11. 同窓会長賞	790,000	800,000	
	12. 校友会活動助成金	300,000	300,000	
	13. 総務委員会積立	799,910	500,000	
	14. 支部活性化助成費	204,660	400,000	
	15. ホームカミングデー対策費	180,000	180,000	
	16. 名簿作成準備費	338,931	330,000	
	2	会議費	165,689	180,000
	17. 会議費	173,242	150,000	
	18. 交通費	1,993,726	2,060,000	
3	管理費	35,058	40,000	
	19. 通信費	308,312	350,000	
	20. 交通費	293,593	250,000	
	21. 事務費	24,570	50,000	
	22. 印刷費	37,800	40,000	
	23. 慶弔費	1,134,713	1,250,000	
	24. 事務局運営費	49,680	30,000	
	25. 備品購入費	110,000	50,000	
	26. 予備費	4,000,000	5,000,000	
4	特別会計	4,000,000	5,000,000	
	27. 基本財産(積み立て)	4,000,000	5,000,000	
	小計	24,184,322	24,570,000	
	次年度繰越金	1,598,405	730,405	
	合計	25,782,727	25,300,405	

【別途積立・総務委員会会計】 (単位:円) 【別途積立・名簿委員会会計】 (単位:円)

みずほ銀行中野坂上支店 普通口座××××897

みずほ銀行中野坂上支店 普通口座××××883

収入の部		
	26年度予算額	決算額
1. 前期繰り越し残高	7,541,925	7,541,925
2. 預金利息	5,000	1,215
3. 一般会計より繰り入れ	300,000	300,000
合計	7,846,925	7,843,140

収入の部		
	26年度予算額	決算額
1. 前期繰り越し残高	14,394,868	14,394,868
2. 預金利息	5,000	2,352
3. 一般会計より繰り入れ	180,000	180,000
合計	14,579,868	14,577,220

支出の部		
	26年度予算額	決算額
1.	0	0
合計	0	0

支出の部		
	26年度予算額	決算額
1. 不明者調査費	400,000	186,840
2. 本部データ管理費	180,000	162,000
3. 郵便料金後納	20,000	16,424
4. 通信費	0	0
合計	600,000	365,264

資産残高(次年度繰越)		
	26年度予算額	決算額
差引残高	7,846,925	7,843,140

資産残高(次年度繰越)		
	26年度予算額	決算額
差引残高	14,579,868	14,577,220

名簿準備金(資産残高)次年度繰越		
	26年度予算額	決算額
差引残高	13,979,868	14,211,956

【別途積立・総務委員会会計】 (単位:円) 【別途積立・名簿委員会会計】 (単位:円)

収入の部		
	26年度決算額	27年度予算額
1. 前期繰り越し残高	7,541,925	7,843,140
2. 預金利息	1,215	2,000
3. 一般会計より繰り入れ	300,000	300,000
合計	7,843,140	8,145,140

収入の部		
	26年度決算額	27年度予算額
1. 前期繰り越し残高	14,394,868	14,211,956
2. 預金利息	2,352	3,000
3. 一般会計より繰り入れ	180,000	180,000
合計	14,577,220	14,394,956

支出の部		
	26年度決算額	27年度予算額
1. 90周年記念事業 準備費	0	150,000
合計	0	150,000

支出の部		
	26年度決算額	27年度予算額
1. 不明者調査費	186,840	190,000
2. 本部データ管理費	162,000	170,000
3. 郵便料金後納	16,424	20,000
4. 通信費	0	0
合計	365,264	380,000

資産残高(次年度繰越)		
	26年度決算額	27年度予算額
差引残高	7,843,140	7,995,140

資産残高(次年度繰越)		
	26年度決算額	27年度予算額
差引残高	14,211,956	14,014,956

名簿準備金(資産残高)次年度繰越		
	26年度決算額	27年度予算額
差引残高	14,211,956	14,014,956

【特別会計・基本財産】 (単位:円)

収入の部		
	26年度予算額	決算額
1. 前期繰り越し残高	136,196,762	136,196,762
2. 預金利息	40,000	24,435
3. 一般会計より繰入	3,700,000	4,000,000
合計	139,936,762	140,221,197

【特別会計・基本財産】 (単位:円)

収入の部		
	26年度決算額	27年度予算額
1. 前期繰り越し残高	136,196,762	140,221,197
2. 預金利息	24,435	20,000
3. 一般会計より繰入	4,000,000	5,000,000
合計	140,221,197	145,241,197

支出の部		
	26年度予算額	決算額
	0	0
合計	0	0

支出の部		
	26年度決算額	27年度予算額
	0	0
合計	0	0

資産残高(次年度繰越)		
	26年度予算額	決算額
差引残高	139,936,762	140,221,197

預金内訳		
	26年度決算額	27年度予算額
1. みずほ銀行中野坂上支店	66,038,208	
2. 三菱東京UFJ銀行中野支店	28,560,723	
3. 三井住友銀行中野坂上支店	45,622,266	
合計	140,221,197	

資産残高(次年度繰越)		
	26年度決算額	27年度予算額
差引残高	140,221,197	145,241,197

平成27年度東京工芸大学同窓会長賞

学 科	学年	氏 名
写 真 学 科	4	平 井 真 奈
映 像 学 科	4	月 森 星 爾
デ ザ イ ン 学 科	4	宇 津 木 幸 治
デ ザ イ ン 学 科	4	山 口 慶

学 科	学年	氏 名
インタラクティブメディア学科	4	ソフトウェアデザイン研究室 代表者：関 根 葵
アニメーション学科	4	チン ドウ ネン CHEN TONG NIAN
マ ン ガ 学 科	4	小 野 萌 可
ゲ ー ム 学 科	4	ネットワークゲーム研究室 代表者：笹本 加奈子

写真学科4年 平井 真奈

この度は、同窓会長賞を頂きましたこと感謝致します。制作の原動力となる興味の矛先はいつも現実に向いています。他者との感覚の差異はとても現実的だと常々感じてきました。それを形として落とし込む時、抽象的なイメージを用いることで、より現実を感じるのです。写真は現実の模倣であると考えています。だから、私は写真という表現方法にこだわりたいのです。

制作の軸をこれからも貫き、より向上した作品を発信して行けるよう努力していく思いですので、今後ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。最後に、このように多くの方の目に触れる機会を与えて頂いたことを幸せに思います。ありがとうございました。

映像学科4年 月森 星爾

この度は、名誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。歴史ある同窓会からの受賞を大変誇りに思っております。今回、同窓会長賞をいただくきっかけとなった「MADE IN OSAKA CM AWARDS」での受賞作品は、沢山の人の協力によって制作されました。今回の同窓会長賞を含め、賞をいただくことができたのは、仲間の協力や先生方のお力添えがあってこそだと思います。

今回の受賞を励みにし、これからの残された学生生活のなかで、より映像に真剣に向き合い、感謝の気持ちを忘れず、よりよい作品の制作に邁進してまいります。最後になりますが、受賞作品に協力して下さった先生方、研究室の仲間、その他協力者の方々に心から感謝いたします。



デザイン学科4年 宇津木 幸治

このたびは同窓会長賞をいただき、誠にありがとうございます。私はデザインはおろか美術に関して何の知識もなく、ただ好きという気持ちだけを持って入学しました。そんな私が今、こうした栄誉ある賞をいただけたということは大きな自信になり、これから先の制作活動の支えになります。

今後も、教授や学友をはじめとする自分を支えてくださる周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、更に邁進していきたいと思っております。

デザイン学科4年 山口 慶

この度は、東京工芸大学同窓会長賞を受賞させていただき、大変喜ばしく思います。受賞のお話を人づてにて知らせていただいた時、このような賞があるということを知りませんでした。推薦して下さった廣村先生からは「山口はお金がないからな」と、冗談を含めた言葉を踏まえつつ、自分の事のように喜んでいるような笑顔でお話を伺いました。

これから工芸大学生として恥ずかしくない活躍をしていけるよう更に精進していきたいと思っております。

奨学金」授与式開催

平成27年度東京工芸大学同窓会芸術学研究科奨学金

専攻	学年	氏名
メディアアート専攻博士前期課程	1	OH JAEWOONG ^オ OH JAEWOONG ^{ジエウン}

専攻	学年	氏名
メディアアート専攻博士前期課程	2	三上 航平

平成27年度東京工芸大学同窓会芸術学部奨学金

学科	学年	氏名
写真学科	2	高崎 由利子
映像学科	3	松島 桂子
デザイン学科	3	匝 瑳 龍暉
デザイン学科	3	望月 悠妃

学科	学年	氏名
インタラクティブメディア学科	3	望月 聡
アニメーション学科	3	法月 民次
マンガ学科	2	関段 曜
ゲーム学科	3	小川 正

インタラクティブメディア学科4年 ソフトウェアデザイン研究室 代表者 関根 葵

アニメーション学科4年 CHEN TONG NIAN^{チン ドウ ネン}

この度は、名誉ある同窓会長賞を頂くことができ、大変嬉しく思います。受賞のきっかけとなりました「TOKYO DESIGNERS WEEK」での出展は、決して我々の力だけでは達成できませんでした。ご指導頂いた野口先生、お手伝い頂いた皆様、そして我々の作品を見てくださった多くの方々のおかげであります。心より感謝申し上げます。

今後、同じイベントでは実際にお手伝い頂いた後輩たちがゼミ生として出展する側にいます。彼らの活躍に期待すると共に、我々は卒業制作展における皆様のご期待に応えられるように精進してまいります。この度は誠にありがとうございます。

このたびは東京工芸大学同窓会長賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございました。受賞者としてとても誇りに感じていると同時に、この場を借りて作品に関わってくれたゼミのメンバーと先生方にも感謝したいと思います。

今は将来の見通しも定まっておらず不安になることもありますが、この賞を頂いてこれまでの努力が報われたような嬉しさと自信を感じました。

今後は、この賞に恥じないように、より精一杯努力し、卒業制作だけではなく、たくさん良い作品を制作していきたいと思っております。ありがとうございました。



マンガ学科4年 小野 萌可

ゲーム学科4年 ネットワークゲーム研究室 代表者 笹本 加奈子

幼い頃から漠然と漫画家になりたいと思っていた私は、自分に足りない知識や技術を学ぶためにこの学校のマンガ学科に入学しました。そこで足りなかった知識や技術を学ぶだけでなく、同じ夢を持つ同期、一人暮らしの環境や様々な刺激が自分を随分と成長させてくれました。その結果、少年マガジンの新人賞佳作をいただくことが出来ました。

今までの全ての過程が、今回の同窓会長賞に繋がったのではないかと思います。非常に嬉しく思います。選考して下さった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にこの学校を選んで良かったと、心からそう思います。受賞したことを励みに、今後はプロとして活動をしていけるよう、努力していきたいです。ありがとうございました。

この度は同窓会長賞という名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思います。

チームでの作品制作は、大きな経験となりました。時には意見が衝突し、苦悩する場面もありましたが、一人ひとりが力を合わせ乗り越えていくことで各々成長することができたと感じます。そうしたかけがえのない時間の中で制作した作品が、このように世の中に認められ、評価されることは、とても励みになりました。

現在は、4年間の集大成である卒業制作に向け、その場でしか味わうことのできない、心に残る体験を与えられるよう制作に取り組んでいます。世の中に魅力的な作品を送り出せるよう、メンバー一同精進していきます。

|学位授与式・卒業祝賀会

平成27年3月24日、中野サンプラザで学位授与式および卒業祝賀会が開催されました。会場を13階コスモルームおよびスカイルームに移して開かれた同窓会と後援会共催の祝賀会は先生を囲んだり、友人同士など様々な交歓の輪が随所に出て、会場全体が熱気に包まれました。

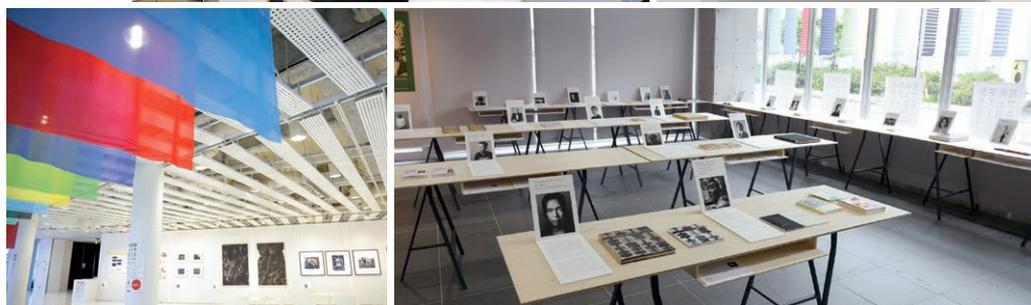
恒例となった学科別等の集合記念写真撮影では一層の盛り上りを見せていました。

写真右は学位授与式で挨拶する田沼会長、写真左は祝賀会で乾杯の発声をする若尾学長。



|芸術学部フェスタ

今年も7月3日から20日まで「芸術学部フェスタ2015」が開催されました。「みる 感じる あそぶ」をテーマに教員によって制作された様々な作品が展示・発表され2号館B1Fブレイスでは4回にわたりトークセッションも催されました。



関西支部恒例の支部総会開催される



平成27年6月27日(土)、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し近畿各地から同窓生が参加しました。

来賓として、東京工芸大学同窓会本部 大澤 登 副会長また、吉野 弘章 東京工芸大学芸術学部長のご出席を頂きました。

38期滝口氏の司会進行で、まず亡くなられました、29期山口 譲一氏に黙祷を捧げ、各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

来賓講演にて、吉野 弘章 教授より「現代社会における写真の位置」のお話を頂き、また大澤 登 副会長より同窓会事務局の近況などのお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り工-16期小林 修一氏の司会、29期渡辺 清氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、工-4期侯野 恒雄氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。



学校疎開 — 飯能 —

東京写真工業専門学校は終戦直前の昭和20年7月中旬から1ヶ月間ほど、学校が埼玉県入間郡飯能町(現・飯能市)へ疎開しました。疎開を体験した23期生4名(小川信一氏、斎藤 實氏、梶野 正敏 氏、高橋 清氏)を5月8日に中野キャンパスへお招きし学生時代の興味深いお話をたくさん聞かせて頂きました。皆様は1987年には保積先生を囲み約15名で、また本年3月24日にも数名で再訪されています。この時は文中にある玉宝寺、秀常寺、畑屋の他に飯能市郷土館などを訪れ写真や資料を収集されました。今回はこれまでほとんど知られてこなかった飯能での疎開授業の様子を中心に記事と致しました。カラー写真5カットは小川 信一氏の撮影によるものです。

文責・木村 政夫(38期)

昭和20年2月に入学試験を幡ヶ谷校舎(現・渋谷区本町2丁目34～36番地付近)で受験、入学手続きをした。なお当時、理工科系の学生は卒業まで徴兵免除措置があり、競争倍率は10倍を超していた。



幡ヶ谷校舎(S18)

国の6月入学延期措置で学校は7月に始まる事になっていた。しかし、キュートな幡ヶ谷校舎は5月25日のアメリカ軍のB29による東京西部空襲(山の手大空襲)で焼失してしまっていた。7月に学校に行くと(特に満州からの入学生は留学生扱いの為に書類審査だけで合格となり、7月が初めての幡ヶ谷校舎への登校であった)驚く事に校舎がなく呆然としてしまった。良く見ると杉浦六衛門の像の前に「小西六写真工業の淀橋工場に来る様」と書かれた立て看板があり、人に尋ね、訪ねて行くと学校の仮事務所があり、「7月中旬から飯能町で授業を行うのでそちらへ行きなさい」との事だった。

小西六写真工業飯能工場(現・埼玉県飯能市役所)で入学式があり、式後の工場見学では工場長から「航空写真用レンズのハードコーティングについて研究して欲し



幡ヶ谷校舎焼け跡

い」との挨拶があった。「研究の為」と言う事で勤労働員としての労働や軍事教練などは一切なく、工場近くの玉宝寺(ぎょくほうじ・飯能市東町29-4に現存)で始まった。本堂の本尊(虚空蔵菩薩像)の前に大きな黒板を置き授業を行っていたが、まさに寺子屋の様であった。受講生は1年生と、上級生2、3名、小西六写真工業技術者養成所からの委託生4名を含め50名前後だった。(なお、小西六委託生とは現在も同級生としてお付き合いが続いている。)



玉宝寺



玉宝寺-本堂内部

授業は林 一男先生(2期)と保積 英次先生(16期)が担当され、林先生の「写真光学」は非常に難解で、保積先生の「写真化学」は非常に分かりやすい授業であったのが記憶に残っている。

夜は玉宝寺、秀常寺(しゅうじょうじ・飯能市双柳515・本堂は改築)、割烹料亭 畑屋(飯能市仲町21-16・現存しているが老朽化の為使用していない)に分宿した。



秀常寺

滞在中の食事は3食(いつも大豆が入っていた)とも飯能工場を利用させてもらった。しかし、育ち盛りの18~20歳の若き学生は常に空腹をかかえ、真夜中に近所の畑からトマトを勝手に調達し、持ち帰ってみるとまだ青く、熟れるのを待って食べるなどして飢えを凌いでいた。鎮守の森の池に鯉を獲りに行って見つかってしまうという失敗もあった。休みの日には近くを流れる入間川で魚釣りや飯盒炊爨などをするのが楽しみだった。

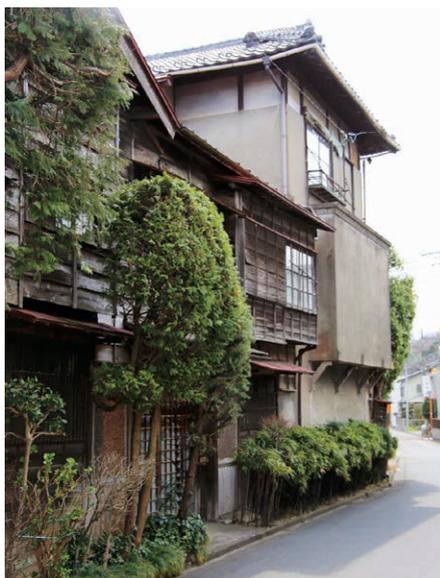
空襲も時々あり、夜警報が鳴ると2年生は布団部屋の布団に潜り込んでいたが1年生は数少ない布団を奪い合い頭を隠し潜り込んだ。翌日にはその光景を思い出し大笑いした。



畑屋-玄関

8月15日の玉音放送は畑屋の前の道路上で聞いたが、何を意味する事が良くは分からなかった。ただ「ああ、これで死なずに済む。生きていける」というのが実感だった。数日後、約1か月の疎開生活は終わり、各自連絡

先を明記して飯能を後にして帰宅した。



畑屋-外観

その後10月15日より小西六写真工業淀橋工場(現・新宿区中央公園)の青年学校校舎を仮校舎として授業が始まり、約2年半を仮校舎で過ごし23年3月に卒業した。



淀橋工場仮校舎

今号から新たに「エピソード」のコーナーを設けました。学生時代のちょっとしたエピソードがありましたら、投稿をお願い致します。

投稿先

同窓会事務局「ひろば」の係宛
又はe-mail dousoukai@t-kougei.gr.jp

原稿の目安：

¼ページ 本文200~300字 写真1枚
½ページ 本文400~600字 写真2枚以内
1ページ 本文800~1200字 写真4枚以内

編集の都合でリライト等をさせていただく事がございます。予めご承知ください。

同期会等の寄稿もお待ちしております。上記を参考に
お寄せください。

|34期製版科クラス会開催

平成27年5月26日(火) すべて新装となった中野キャンパスの見学会と中野坂上近くの居酒屋で13名によるクラス会を行いました。

当日の14時に1号館の1101教室に案内され、芸術学部写真学科の上田 准教授(75期)と同窓会の立川 専務理事(42期)による学内の概況をお聞きしました。その後ご両氏による案内で1号館の上田研究室(肖像写真研究室)専用のスタジオ及びアナログ処理の暗室、さらには大型スタジオでの商品の撮影中の実習風景を見学しました。そして中庭に行き2号館の一部を見てから神田川の橋を渡って旧宮園タクシー会社の跡地の3号館へと移動しました。その5階の屋上展望台に昇ったところ新宿副都心の超高層ビル群や東京都庁の建物をすぐ近くに見ることができました。その後、教室に戻り本学の入試に関することや就職状況についての質疑応答があった後、再び中庭にて記念の集合写真を撮って見学会を終了しました。上田先生並びに立川さん有難うございました。

そして第2部の懇親会のために、16時より居酒屋「北



海道(中野坂上駅前店)」に行き、熊本市より参加の土場氏による音頭で乾杯して懇談となりました。席上各自による近況報告や欠席者の返信ハガキを廻し読みしながら話が弾み、予定時間を30分ほど超えた16時30分に閉会となりました。 八方 一治(34期)

|写大テニス部OB同窓会

2015年4月4日に新宿で写真短期大学テニス部OB同窓会を開く事が出来ました。桜が満開の季節、ちょっと肌寒さの残る日でしたが南は九州から北は福島まで39期から50期まで26名の会員が参加し旧交を温め親睦を深めました。今回は阪神淡路大震災の年に開催予定でしたが被災した会員がおりましたので一年後の開催となり、

そして今回20年振りに開く事が出来とても和やかな雰囲気でもわずかな時間でしたが楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

また参加された中に東日本大震災で家を全壊してしまった会員もおりましたので皆で励ましあい、お互いが健康でまた会える日を約束しそれぞれが楽しい思いを抱きつつ散会いたしました。

追伸 写大テニス部に所属された方はぜひ連絡いただければと思います。 熊代 志津夫(40期)

連絡先

〒164-0011 東京都中野区中央2丁目4番9号
山崎 公義(44期)
090-3248-4737



企業内同窓会・富士フィルム「ナナメ会」開催

「ナナメ会」とは、富士フィルム、富士写真光機、フジカラーサービス、フジカラー販売に入社した工芸大卒業生による企業内同窓会の事です。この「ナナメ会」の名称は、『写真専門学校⇒写専⇒斜線⇒斜め』に由来していますが、富士フィルム創業以来現在までの会員数は、昭和4年の卒業生を筆頭に210名に及びます。

創立90周年を迎えた中野キャンパスの施設をお借りして、平成27年3月7日(土)に「ナナメ会」を開催しました。冒頭、上田 耕一郎准教授(写真学科)より母校の沿革を含めた芸術学部の進歩発展の歴史をお聞きした後新校舎を見学、新スタジオで記念写真を撮影。その後の懇親会では、内田 隆章氏(26期)の開会の挨拶に続き奥田 昇・同窓会副会長よりご祝辞を頂き、川名 晴美・同窓会理事長による乾杯の音頭、そしてナナメ会の皆さんの3分間スピーチなどで大変な盛り上がりとなりました。



「ナナメ会」平成27年3月7日 於：東京工芸大学中野キャンパス

た。OBの方々も現役時代にはグループ企業内で切磋琢磨してきた親しい仲間の集まりでもあり、良き思い出話に花が咲き、アツと言う間の2時間でした。

増田 鐵也(36期)

新潟県支部

33期渡辺さん、35期山内さん、41期平賀さんのご尽力により、開設40周年となる写大ギャラリーのコレクションから「古寺巡礼」を中心とした土門 拳の作品約150点が新潟市新津美術館で展示される事になりました。

これらは細江 英公氏(29期)の根気強い要望に応えた土門 拳氏本人が選定し、制作された貴重なオリジナルプリント作品です。「土門 拳」の力強い表現世界をお楽しみください。

これに併せて10月29日に新潟県支部総会開催を予定しております。

会期 2015年10月24日～12月6日(休館があります)

場所 新潟美術館

新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

休館日、開館時間等は美術館までご確認ください

新潟県支部支部長 小林 俊郎(44期)

NAM 新潟市新津美術館

2015
10/24日
12/6日

東京工芸大学 写大ギャラリー40周年記念

土門拳写真展 —古寺巡礼—

開設40周年を迎える東京工芸大学写大ギャラリーとの共同開催により、写大ギャラリーの中核コレクションの一つである土門拳の作品を紹介します。写大ギャラリー開設者の細江英公氏の強い要望に応じて、土門拳自身が一枚ずつプリントした貴重なオリジナルプリント作品から、土門の代表作「古寺巡礼」シリーズを中心に約100点を展示します。あわせて、写大ギャラリーの写真コレクションも紹介します。



■土門拳「古寺巡礼」室生寺弥勒堂釈迦如来坐像左半面相

休館日

月曜日
(11/2、11/23)
は開館
11/24(火)

観覧料

Ticket	当日券	同時開催の「中国 魏国陶磁展」とのセット券
一般	600円	1,000円
大学・高校生	400円	
中学生以下	無料	

シエラネバタ山脈とヨセミテ国立公園の山旅

2000年に創立50周年記念行事が盛大に執り行われました。次の60周年行事がなかなか決まらない中、26年度定期総会(4月26日)が行われ、役員改選で会長に39期・片山、副会長に35期・豊島、事務局長50期・近藤(留任)等が決まり、38期の辻野氏から記念行事として「アメリカの山旅」の提案があり、承認されたのち…6月1日発行の「はいぼ～No26」に細部の日程が発表された。9月24日から10月1日の6泊8日間の旅で、今回は創立60周年記念行事としてスポンサーが付き、体調と時間が許せば大いに参加してほしいと呼びかけ、またOB会員家族の参加もOKとなり、滅多に行くことの出来ない「アメリカ山岳地帯の旅」大いに期待したところです。8月24日に最終打ち合わせ会が行われ、辻野氏より現地の地図・写真を見ながら説明を受け、益々期待に心弾ませたところです。

参加メンバーは日本から、39期・片山新会長のほか、27期・中野、30期・猪野家族、31期・中島家族、34期・大木夫人、35期・豊島夫妻、36期・安部夫妻、37期・岩瀬夫妻、48期・柳沢夫妻、50期・近藤と家族を入れて20名で、現地アメリカから37期・丸田(角田)、38期・辻野夫妻で合計23名の参加者になりました。

9月24日(水) 1日目 成田空港集合、シンガポール航空機にて夜フライト、約9時間でロサンゼルス到着、空港では辻野夫妻に出迎えられ、ゆったりした大型バスでルート99を310km北上しパイセリヤへ移動。

9月25日(木) 2日目 快晴 いよいよ山旅のスタート、セコイア国立公園へ、樹齢3000年の巨大セコイアツリーの群生地へ、カリフォルニアブルーの空を突き抜けるように100mもの巨大セコイアに圧倒される。一番の



巨木(ゼネラルシャーマンツリー)前で記念写真を撮り下山し、ホテル・ヨセミテビューロッジに向かう。

9月26日(金) 3日目 曇りのち晴れ ガスのかかった中、出発しエルキャピタン岩峰(2307m)の麓に着くころにはガスも晴れ青空も覗き、先ずカメラに収めヨセミテロッジに向かう。シャトルバスに乗り換え、ヨセミテ一番の展望台グレイシャーポイント(2199m)に到達、今ツアー一番のハイライト、ハーフトーム(2693m)とヨセミテ山群の展望に大満足、あとは撮影三昧またハーフトームを登るロッククライマーの登攀に見入る(若かったら俺達も登るのだがと…)。ハーフトームをバックに全員の記念写真を撮り下山する。私が若手山岳写真家だった頃アンセル・アダムスのヨセミテ山岳写真に憧れていたが、そのアンセルのフォトショップに立寄り、間近にオリジナルプリントを堪能する。



グレイシャーポイント 右奥がハーフトーム

9月27日(土) 4日目 2泊したホテルを出発、途中オルムステッドポイントに登り北側からハーフトームを望遠する。ヨセミテ山群に別れを告げ今朝がた降雪した道を下りシエラネバタ山脈の峠ティオガパス(3031m)を越える。川沿いを下り塩水湖のモノレイクに到着し、石灰華の群生地サウスツーパーに向かう。異様に群立した見事な石灰華群を、カメラに収め、次に針葉樹林帯に点在する湖水ツインレイク・ポシュレイクや透明なレイクマニーなどの景勝地を周遊する。

9月28日(日) 5日目 朝食のレストランへ入ろうとしたら広場の10mぐらい先に大きな熊が廃品ボックスを漁り、我々を見ても全く動ぜず悠々と漁り退散する気配なし。昨日で山岳地帯は終わり街道沿いの見学コースに入る。小雨の中マンモスレイクへ、さらに南下し高度を下げると、視界も広がり快晴となりマンザナ「国立史跡のビジターセンター」に到着する。展示場には日米戦争における日系アメリカ人の強制収容状況が展示され、心

身ともに言語に尽くせぬ苦勞をしたものと推察する。次にフィルムミュージアムに向かう。入場料\$5のミュージアムは懐かしいハリウッドの西部劇の立看板や映画ポスターが壁全面に展示、また映画に使用した車や駅馬車、衣装・大道具・小道具も所狭しと展示、懐かしき限りなり。次の西部劇ロケ地、アラバマヒルを一巡して今日最後の目的地へ走る。「化石の滝」へ、どんな滝か想像がつかなかったが、44万年前にできた水で浸食された奇岩が重なり合って滝壺に落ち込むさまに(水は全くなし)、初めて見る珍しい光景だと夢中でシャッターをきる。盛りだくさんの見学も終わり一路ロサンゼルスへ…。

夕食は本格中華料理のフルコースに舌鼓を打ち楽しく会話も弾む。特に女子会の席は華やいでおりOBの旦那より元気・元気。第一の山岳ツアーの成功に祝杯をあげる。今夜のホテルは日系のミヤコハイブリッドホテルでTVはNHK、トイレはウォシュレット…。



パンpinkinハウス

9月29日(月) 6日目 今日第二ツアーの目的地へ、道幅が狭い山道のため、乗用車に分乗してニジャファームに向かう。ニジャファームの入り口から山道を走りパンpinkinハウスに到着する。このハウスは148年前に建てられた長野の古民家を取壊し寸前に入手し、解体して骨組の古材をアメリカに輸送し、カナディアンファーム(24・25年の2回合宿した)のハセヤン廃材名人グループの手により組み立てられたこだわりのハウスでレセプションルームとして使われている。オーナーの辻野氏よりこのハウスや10万坪の山を開墾し土づくりをしたオーガニックファームの説明を受けた後、ニジャのオーガニック弁当、全てが美味しく完食する。このニジャオーガニックファームは連作を防ぐため畑を分けて栽培している。この山の中に井戸を掘り広大な畑群に配水管を巡らし、農薬を使わず有機栽培をしているとか。当初はいろいろ失敗した様だが、このこだわりの報われニジャオーガニックが支持され、ニジャマーケットの柱になっているようだ。広大な農場を見学して下山する。ロスに戻りオーガニック食材のあるニジャマーケットに立寄りアメリカでのお土産を色々仕入れる。夕食は今ツアーの

打ち上げとばかり豪華にスペアリブ会食となる。太った地元のおばさん達を見ると豪快にガブリついており圧倒される。テーブルいっぱいの料理と飲み物で、満腹・甘露甘露でホテルに戻る。

9月30日(火) 7日目 最終日、元の大型バスに乗り込みロス近郊の周遊に向かう。ロスを南下してマリナ・デル・レイへ、湖畔のお洒落なショップや大型高級帆船などを見て湖畔を周遊し、ベニスビーチ・サンタモニカを窓越しに見ながら憧れのハリウッドハイランドに到着する。あの華やかなオスカー会場入口の赤絨緞を歩き更に奥へ進むとハリウッドのシンボル、丘の中腹にある「HOLLYWOOD」の立看板のビューポイント到着する。華やかな街を見てロス空港へ向かう。

今回の企画提案者辻野氏よりバスの中で波乱万丈・サクセスストーリーを聞き、先見性・行動力の強さにただ感嘆するばかりです。またスポンサーの辻野氏に対しては、一般ツアーでは味わえない楽しく素晴らしいツアー、参加者一同万感・感謝の極みです。厚く御礼申し上げます。ロサンゼルス空港に到着、辻野夫妻に別れを告げ、帰国の途に就く。

10月1日(水) 8日目 盛り沢山のツアーもすべて終わり、約12時間のフライトの後成田に到着する。全員集合して会長よりメンバー一同異常なく帰国できたこと、辻野氏への感謝のことは等締め挨拶の後解散する。OB会員の健勝と絆を大切に。元気で次の機会を楽しみに…。



第2回女子会

26年度は60周年記念の大会のため、秋の山行は中止となり、12月に第2回女子会が開催され、アメリカから37期の丸田も駆けつけ、男子も参加OKとなりアメリカの旅談義などに花が咲く、参加者11名。27年の新年会は、1月25日大雄山最乗寺で特別祈禱を受け、小田原市内に戻って、創意豊かな料亭で新年の杯を重ねる。参加者9名。

27年度定期総会は、4月18日工芸大・1101教室で開催され、第3回女子会6月3日、夏山合宿は「伊吹山」8月1日～2日、マイクロバス1台チャーターする。尚、秋の山行などは別途企画…。

中野 慶一(27期：東京写真大学山岳部OB会 顧問)

34期写真技術科卒の佐藤 研一(雅英)氏が平成26年11月に瑞宝単光章を受章されました。

佐藤氏は同窓会の監事でもあります。



不惑の41歳

写大ギャラリー
40周年記念展

写大ギャラリー開設40周年を記念し、
『おどろきの時代』に活躍した写真家たちと、
珠玉のプリント・アルバムを展示いたします。

第1期(1975年～1984年)
2015年4月20日(月)～5月24日(日)

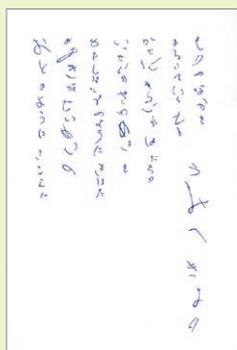
第2期(1985年～1994年)
2015年6月1日(月)～7月5日(日)

第3期(1995年～2004年)
2015年7月13日(月)～8月8日(土)

第4期(2005年～2015年)
2015年8月24日(月)～9月27日(日)

写大ギャラリー40周年記念展

4期に分けて開催されています
第4期(2005年～2015年)
2015年8月24日～9月27日



海へ木より 千葉 紘香(90期デザイン学科) 初個展

岩手県大船渡市 No.3 ギャラリーで開催

日本山岳写真協会展
2015-山・われらをめぐる世界

◎特別出版 星次子殿下の
会員作品展・一般公募入賞作品展

東京都美術館 2階 第4展示室 (入場無料)
8月31日(月)～9月6日(日) 8月31日13:00開場
9:30～17:30 最終日14:00まで(入場は閉場30分まで)

山岳写真セミナー(撮影ガイド) (東京都美術館・講堂)
開催日時: 8月29日(土) 10:00～12:00
講師: 高橋久子氏、星次子殿下、山本支那氏、増島静雄氏
●8月29日(土) 13:30～16:00
講師: 高橋久子氏、星次子殿下、山本支那氏、増島静雄氏
●8月31日(日) 13:30～16:00
講師: 高橋久子氏、星次子殿下、山本支那氏、増島静雄氏
●8月31日(日) 16:30～19:00
講師: 高橋久子氏、星次子殿下、山本支那氏、増島静雄氏

日本山岳写真協会展 中野 慶一(23期) 出品展示

東京都美術館で開催

同窓会事務局の再編について

福村専務理事、糸賀常務理事の退任に伴い、同窓会運営に関わる管理体制強化の一環として、この7月から同窓会事務局の体制が変わりました。

新たに安達常務理事が専務理事に、板垣理事が常務理事に、佐土原理事が常務理事となりました。

それに伴い事務局には原則として月、水、金の午前10時～午後4時まで立川専務理事(事務局長)と板垣常務理事(事務局主事)が勤務しております。

来年には同窓会創立90周年を迎えることもあり、ホームページの充実、会報「ひろば」の充実を図りたいと考えております。また各地方支部へのご支援もこれまで以上に充実できるものと思います。

大学へお越しの際には前もって事務局へお声掛けください。新しくなった中野キャンパスをご案内させていただきます。

事務局長 立川 宏司(42期)

訃報(敬称略)

- 植木 讓二(27期) 写真工業科
- 杉山 君弘(28期) 写真技術科
- 山口 譲一(29期) 写真技術科
- 中川 邦雄(29期) 写真工業科
- 池田 孝一(34期) 写真技術科
- 谷口 彰孝(35期) 写真工業科
- 和田 米彦(43期) 写真技術科
- 大久保 義信(44期) 写真技術科
- 中野 実(44期) 写真印刷科
- 清水 伸一(51期) 写真印刷科
- 小股 敦(82期) 写真学科



東京工芸大学マンガ学科 カートゥーン&イラストレーションゼミ優秀作品展

國原、田中、志水、川島、切田(準会員4年生)
中野キャンパス3号館ギャラリーで開催



石の遺産 南牧村とその周辺 平野 雅俊(42期)個展

高崎シティギャラリーで開催



橘学苑デザイン美術コース 第5期生5人展

末山 りん(90期デザイン学科・本名松山 悠菜)
他4名
ギャラリー銀座フォレストで開催



plastic nature 本城 直季(77期写真学科)個展

2015年7月30日～9月12日
nap gallery <http://napgallery.jp>

同窓会では会員の作品展や刊行、各種メディアでの発表等の情報をお待ちしております。これまでは会報「ひろば」での後追いが主となっておりますが今後は同窓会ホームページを活用して予告として発信します。お届け先は同窓会e-mailアドレス dousoukai@t-kougei.gr.jp または事務局「ひろば」の係までお送りください。またこれまでと同様に会員の活動の記録として会報「ひろば」にも掲載します。

開催日・時間は直接会場へご確認ください。
※開催期間未記入の作品展は終了しています。

訂正 130号に4カ所の誤りがございました

- ①表紙右肩の年号 誤2014→正2015
- ②3頁 佐川様と宮本様の写真が入れ替っています
- ③15頁 訃報欄 唐沢 幸彦様を削除
- ④16頁 細江 英公様の「江」を2カ所で「井」としてしまいました。

※同窓会ホームページ掲載分では訂正を済ませております。

お詫び

お元気な方を訃報欄に載せてしまった件につきましてはあるまじき誤りであり唐沢様はじめ関係者の皆様にご心より深くお詫び申し上げます。これは事務局メンバーに届いた同姓の方に関わる年賀状欠礼葉書に端を発しました。その後注意深く慎重な扱いと確認をできなかったところに原因がございます。再発防止策として

今後はご縁者から同窓会への直接の情報だけを訃報として扱うという内規を定めました。今後とも正しい紙面をお届けする様に広報担当一同なお一層心を引き締めて制作してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員長 板垣 雅春(49期)

「同窓会名簿発行にあたって」

東京工芸大学同窓会は、2016年に創立90年を迎えます。現在までに22,000人を超す同窓生がおります。勿論すでに他界されている方もおりますが、いまま現役で活躍されている方も沢山おられます。

この歴史ある大学を卒業した証明になるものとして、同窓会名簿に名前が表示されているか否かが大きく左右すると思います。近年は個人情報保護法により、住所などを明らかにしない方もいますが、その方は別にして、友人、先輩後輩に連絡を取りたい方も多いことと思ひ、同窓会員の名簿を発行することに致しました。前回発行してから15年になります。ぜひ新しい名簿をお求めになり、有効に活用いただければ編集にあたった委員の方々の苦勞も酬われることと存じます。ご理解とご協力をお願い致します。

会長 田沼 武能

本名簿は卒業生相互のお付き合いが貴重な名簿となります。近年は本学の学科が多くなり、卒業生の数も大変増えて来ております。同期の方々と関係、更に先輩後輩との付き合いのため、情報としての存在の価値があると思ひます。

- ・名簿の価格は4,500円(消費税込)となります。
- ・発行は来年の8月を予定しています。
- ・卒業生の皆様の住所につきましては、変更があった場合には確認をいただいておりますが、更に住所の変更などのある方もいらっしゃることもありますので、本年11月、及び来年の1月に確認のための調査カードを発送させていただきます。このカードは名簿発行にかかわる契約を結んだ株式会社サルトから発送されます。ご協力をお願い致します。

本学の同窓会名簿を制作するにあたり、努力を致してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

同窓会の名簿委員：畑 鉄彦、佐土原 一浩、木村 政夫、立川 宏司

「同窓生子女特別推薦制度」および「同窓生子女等入学優遇制度」について

(1)平成28年度同窓生子女特別推薦制度について

本制度は、本学の歴史・教育方針・研究内容等、本学の良さや校風をよく理解されている同窓生の皆様から、ご子女を推薦していただく入試制度です。本学ならではの良さを伝え聞き、真剣に勉学に取り組む意思を持ったご子女を受験生としてご推薦いただくことを期待しております。

(2)同窓生子女等入学優遇制度について

同窓生および在学生の関係者を対象に、入学金相当額

同窓会90周年記念式典と祝賀会が平成28年9月3日(土)に決まりました

東京工芸大学同窓会は、1926年第1期卒業生が東京写真学生會を創設したことを端緒として、来年には90周年を迎えます。卒業生もこの間2万2千余名に及び来春の卒業生は通算で91期、東京写真大学短期大学部が芸術学部へ改組されてから22年間経ち芸術学部生としては19期になります。

同窓会が90周年を迎えたこの時に、最近の卒業生から東京写真専門学校時代の卒業生までが一緒になって新装なった中野キャンパスに集い祝いたいと思ひます。

90周年記念行事は、平成28年9月3日14時から芸術情報館大講堂で記念式典を執り行い、その中では広く名を知られている著名な方や活躍されている芸術学部同窓生による講演会を検討しております。続いて、16時から2号館のピロティ(予定)を中心に参加者全員で懇親会を開きます。閉会後にはぜひ同期会、クラス会などを計画してみてください。

会費は若い卒業生 [82期・芸10期生～来春の卒業生] は1,000円。それ以前の卒業生は3,000円です。盛大な料理で楽しく参加しやすいように工夫をしましたので皆で母校に集まりましょう。

翌日4日には、全国支部長会議を開催して支部の状況についても話し合います。

また左記の通り、同窓会としては20年ぶりとなる[90周年記念名簿]の発行を予定し、今その準備を行っています。会員のご協力をお願いいたします。

これらの記念事業を通じて、卒業生の絆を一層強くしてまいりましょう。

大澤 登(30期・同窓会副会長)

を免除いたします。入学対象学部等につきましては、芸術学部・工学部・芸術学研究科・工学研究科となります。対象範囲は同窓生の子孫等です。

■(1)(2)の詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

東京工芸大学 入試センター
〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583
TEL 0120-12-5246
FAX 046-242-9638

編集後記

相変わらず年数回は八重山へ通っています。先日はFacebookの友達から「気をつけて登ってきて下さい」というコメントをもらいました。確かに大分県には九重山がありますが…。九重山の離島(竹富島や西表島など)に行くと人間的な魅力いっぱいの旅人と出会えます。そこを旅の終点と決めてナイチャー(内地の人)になった人も(^_^) 人生をリセットする旅は八重山が利尻礼文だそうです。あっそうだ!旅の

大切な条件、それは「一人旅」。きっと沢山の友達リストがお土産になりますよ。

なお、従来広報委員長を務めて下さった福村敏先生の定年・退官に伴い広報委員会でも異動があり、今号から私が委員長を務める事になりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。毎週水曜日と金曜日は芸術情報館3F同窓会室におります。どうぞお訪ねくださいませ。 板垣 雅春(49期)